
シナリオの内容について

2007年2月10日

なごや循環型社会・しみん提案会議 実行委員会
循環システム分析グループ

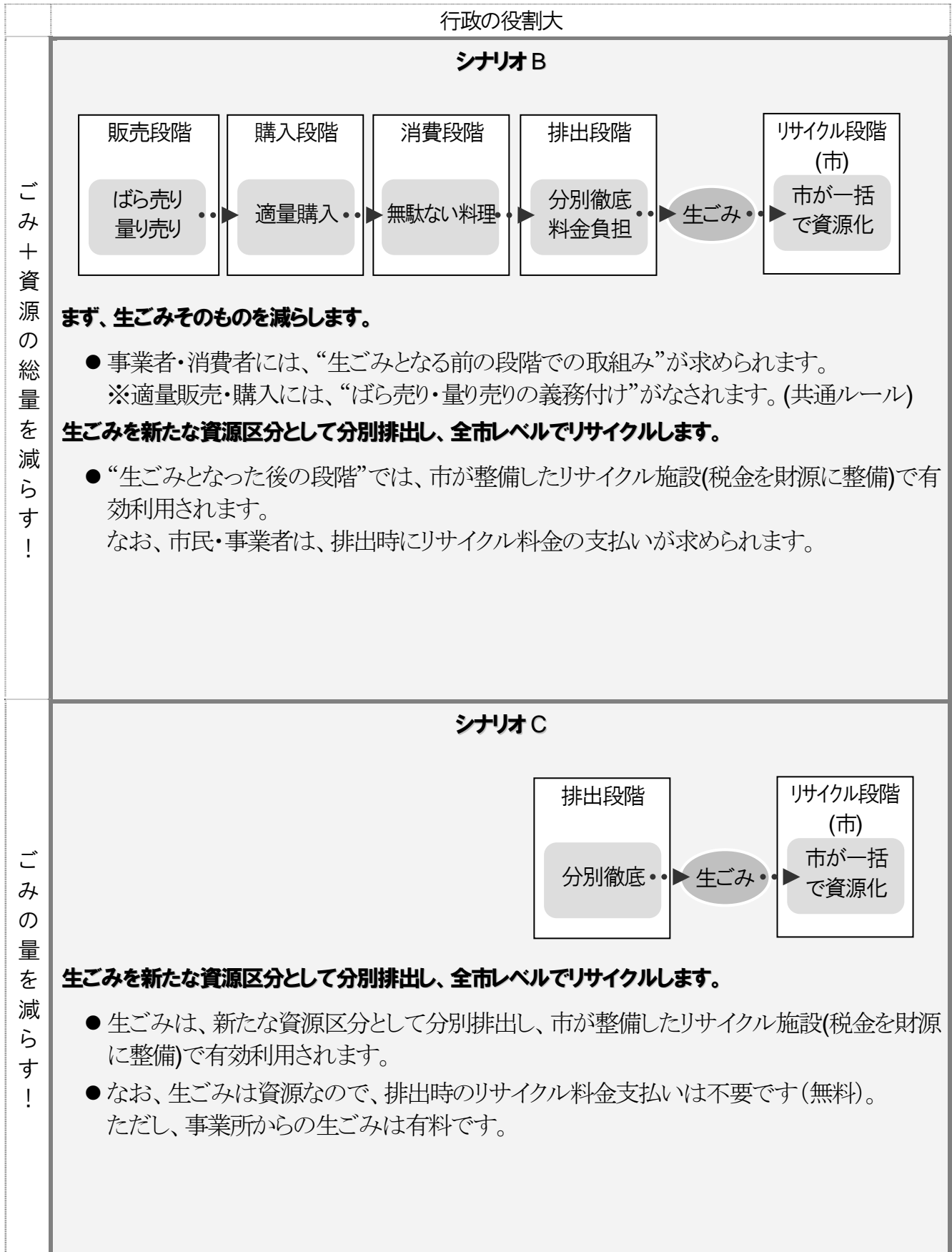
1. シナリオの特徴

専門家チームが作成した4つのシナリオの特徴です。

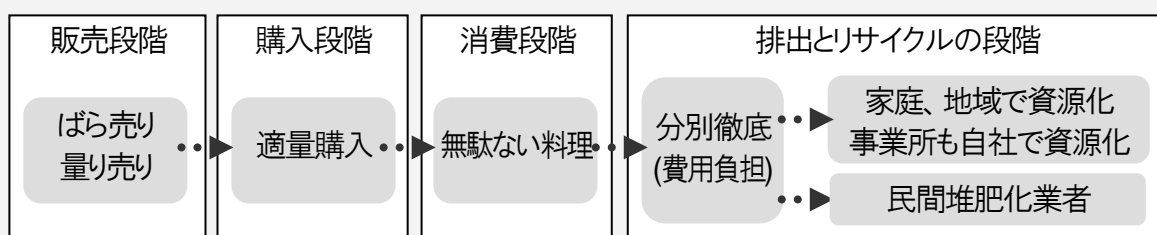
	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の総量を減らす！	<p>シナリオB</p> <p>不要となるモノそのものが少ない社会です。</p> <p>行政による積極的な施策展開とその他“しみん”の理解と協力が求められます。</p> <p>不要となる前の段階での取組みに重きを置きます。</p> <p>生活や事業のあらゆる段階の変革にむけたしみん共通のルールに対して十分な理解と協力が求められます。</p> <p>ごみ・リサイクルともに行政による事業展開が基本となります。</p>	<p>シナリオA</p> <p>不要となるモノそのものが少ない社会です。</p> <p>全ての“しみん”に自主性と責任が求められます。</p> <p>不要となる前の段階での取組みに重きを置きます。</p> <p>生活や事業のあらゆる段階で循環型社会づくりのための価値観の変更と実践が必要です。</p> <p>ごみは行政 リサイクルは民間の役割分担が基本となります。</p>
ごみの量を減らす！	<p>シナリオC</p> <p>リサイクルされるモノが多い社会です。</p> <p>行政による積極的な施策展開とその他“しみん”の理解と協力が求められます。</p> <p>不要となった後の段階での取組みに重きを置きます。</p> <p>しみん共通のルールである分別の徹底に対して十分な理解と協力が求められます。</p> <p>ごみ・リサイクルともに行政による事業展開が基本となります。</p>	<p>シナリオD</p> <p>リサイクルされるモノが多い社会です。</p> <p>全ての“しみん”に自主性と責任が求められます。</p> <p>不要となった後の段階での取組みに重きを置きます。</p> <p>民間主導によるリサイクル事業に対する積極的な参加が求められます</p> <p>ごみの適正処理は行政 リサイクルは民間の役割分担が基本となります。</p>

2. 主なごみ・資源品目でみるシナリオ間の違い

(1) 生ごみ



シナリオ A



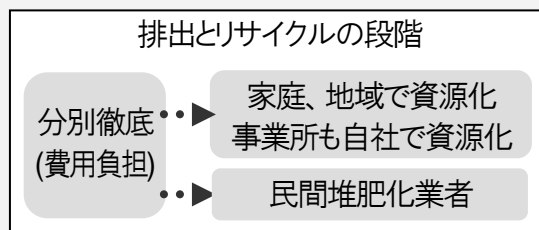
まず、生ごみそのものを減らします。

- 事業者・消費者には、“生ごみとなる前の段階での取組み”が求められます。
 ※適量販売・購入にあたっては、販売店と消費者の協定による“ばら売り・量り売りの推進”など自主的な取組みが求められます。
 ※自発的取組みは“ばら売り・量り売りの義務付け”など共通ルール設定を含みます。

生ごみの自主的なリサイクルを展開します。

- 家庭であれば、家庭用生ごみ処理機などを活用した自家処理、地域内の有志が連携した堆肥づくり、民間の堆肥化業者の活用などの取組みを行います。事業所も、民間の堆肥化業者などと個別に契約するなど、自らがリサイクルルートを構築します。
- ただし、民間堆肥化業者の活用は、堆肥の受け皿となる農家の理解が得られにくいこと、食の安全性を確保するための仕組づくりが必要になるなど、課題もあります。
- どうしてもリサイクルできない、したくない、といった市民の方もいます。
 その場合は、可燃ごみとして、市の収集に出すこともできますが、有料です。
- また、行政は、堆肥の受け皿として、公園や街路などのスペースを提供するなど、市民・事業者の自主的な取組みへの支援も行います。

シナリオ D



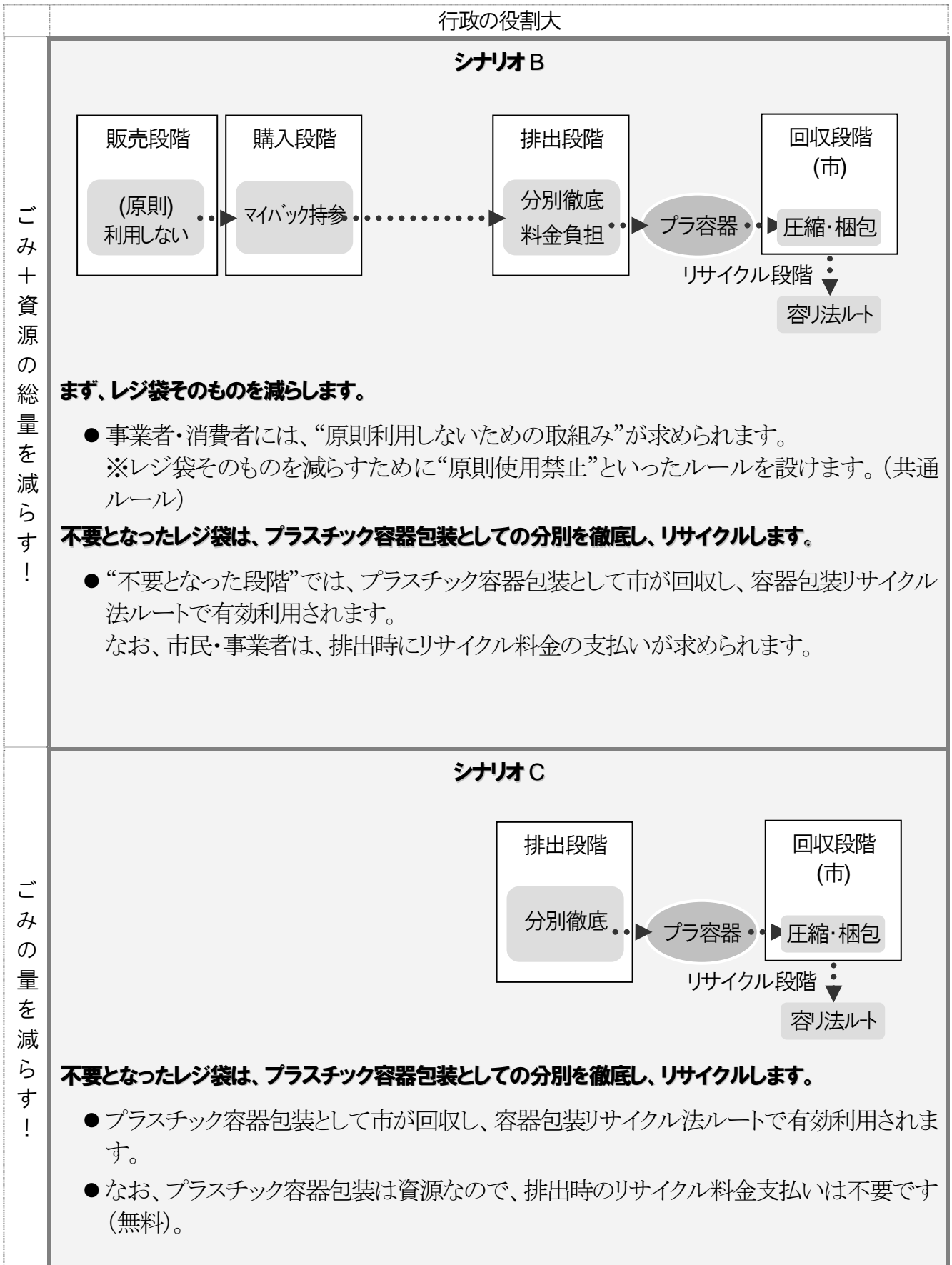
生ごみの自主的なリサイクルを展開します

- 家庭であれば、家庭用生ごみ処理機などを活用した自家処理、地域内の有志が連携した堆肥づくり、民間の堆肥化業者の活用などの取組みを行います。事業所も、民間の堆肥化業者などと個別に契約するなど、自らがリサイクルルートを構築します。
- ただし、民間堆肥化業者の活用は、堆肥の受け皿となる農家の理解が得られにくいこと、食の安全性を確保するための仕組づくりが必要になるなど、課題もあります。
- どうしてもリサイクルできない、したくない、といった市民の方もいます。
 その場合は、可燃ごみとして、市の収集に出すこともできますが、有料です。
- また、行政は、堆肥の受け皿として、公園や街路などのスペースを提供するなど、市民・事業者の自主的な取組みへの支援も行います。

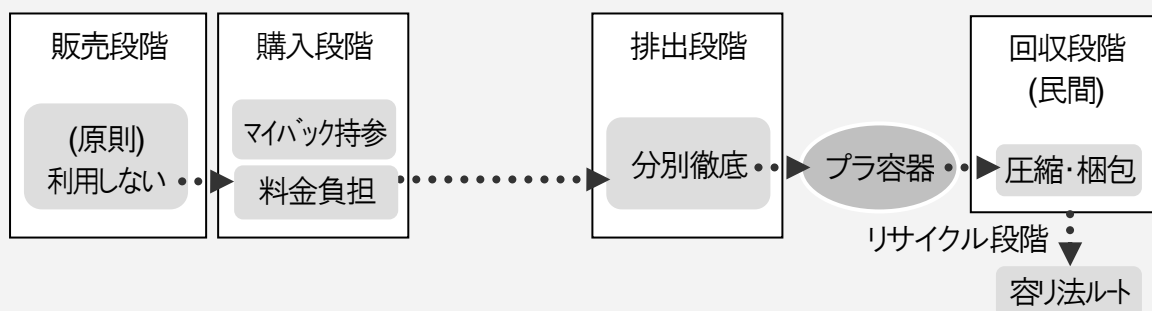
ごみ + 資源の総量を減らす！

ごみの量を減らす！

(2) レジ袋



シナリオ A



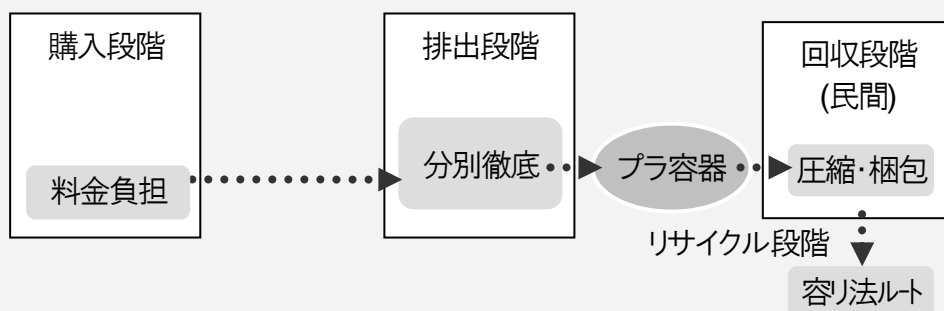
まず、レジ袋そのものを減らします。

- 事業者・消費者には、“レジ袋削減に向けた取組み”が求められます。
※販売店と消費者の協定による“レジ袋使用自粛や有料販売”など自主的取組みが求められます。
※自発的取組みは、“原則使用禁止”といった共通ルールの設定を含みます。

不要となったレジ袋は、プラスチック容器包装としての分別を徹底し、民間ルートでリサイクルします。

- 不要となった段階では、プラスチック容器包装としての分別を徹底し、現行の容器包装リサイクルのルートを活用したリサイクルを行います。また、回収や圧縮等も生産・販売サイドによる実施主体となります。
- この民間主導のリサイクルは、その費用を、消費者がレジ袋の購入時に、支払います。(商品価格に、回収・リサイクル費用を上乗せして販売)
- 行政は、民間サイドのリサイクルが円滑に進むよう、種々の指導・支援を行うとともに、環境水準に悪化がないよう、チェックも行います。

シナリオ D



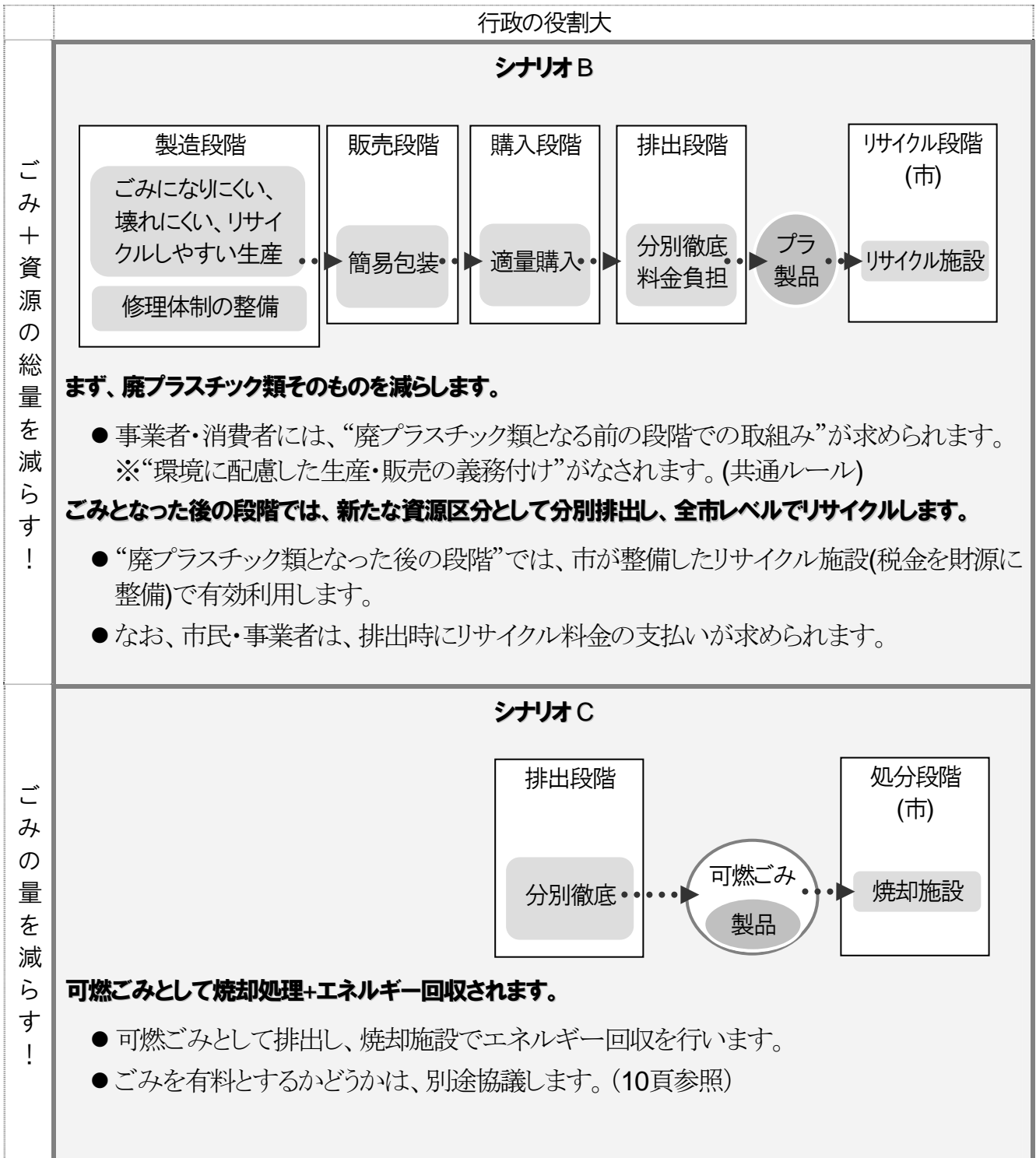
プラスチック容器包装として、民間ルートでリサイクルします。

- プラスチック容器包装としての分別を徹底し、現行の容器包装リサイクルのルートを活用したリサイクルを行います。また、回収や圧縮等も生産・販売サイドによる実施主体となります。
- この民間主導のリサイクルは、その費用を、消費者がレジ袋の購入時に、支払います。(商品価格に、回収・リサイクル費用を上乗せして販売する。)
- 行政は、民間サイドのリサイクルが円滑に進むよう、種々の指導・支援を行うとともに、環境水準に悪化がないよう、チェックも行います。

ごみ + 資源の総量を減らす！

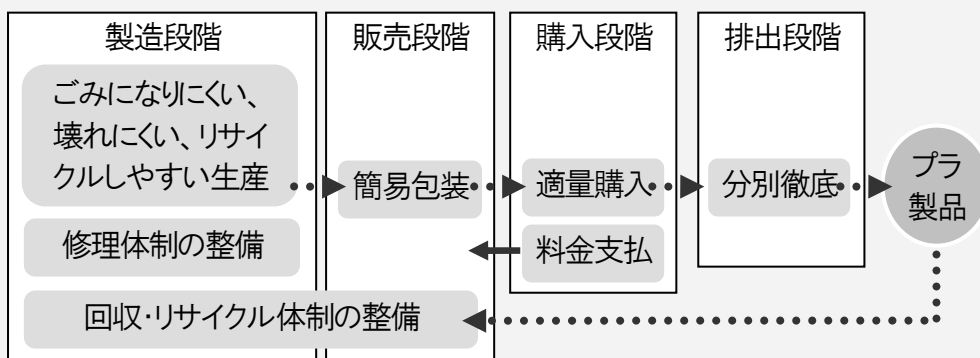
ごみの量を減らす！

(3) プラスチック類 (容器包装以外)



市民・事業者の役割大

シナリオ A



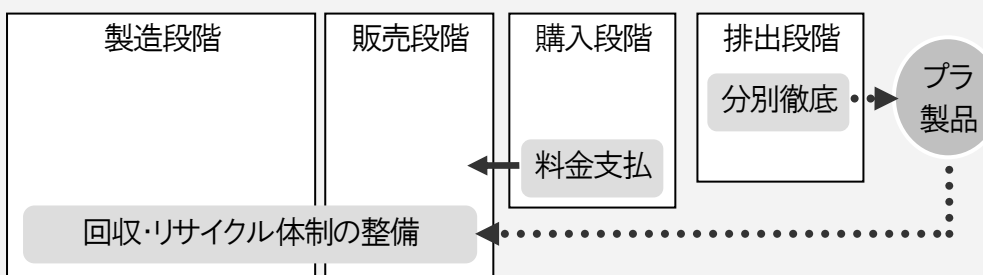
まず、廃プラスチック類そのものを減らします。

- 事業者・消費者には、“廃プラスチック類となる前の段階での取組み”が求められます。
 ※“環境に配慮した生産・販売”を推進には事業者としての価値観、事業形式の変革が求められます。
 ※自発的取組みは、“環境に配慮した生産・販売の義務付け”や“環境に配慮していない製品への課税”などの共通ルール設定を含みます。

ごみとなった後の段階では、廃プラスチック類を民間ルートでリサイクルします。

- “廃プラスチック類となった段階”では、生産・販売サイドが主導となって、回収とリサイクルを行います。
- この民間主導のリサイクルは、その費用を、消費者が製品の購入時に、支払います。(商品価格に、回収・リサイクル費用を上乗せして販売する。)
- 行政は、民間サイドのリサイクルが円滑に進むよう、種々の指導・支援を行うとともに、環境水準に悪化がないよう、チェックも行います。

シナリオ D



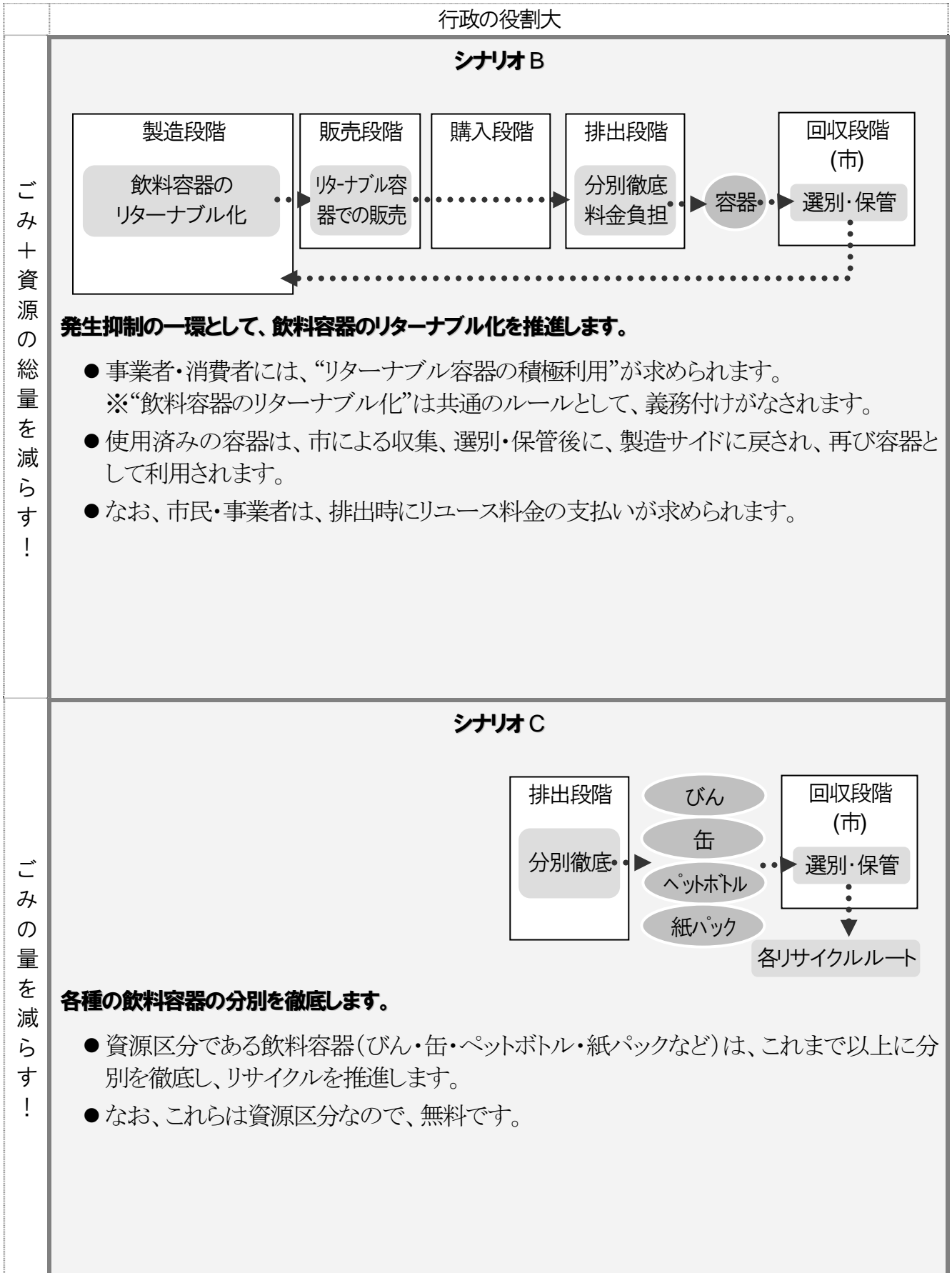
廃プラスチック類を民間ルートでリサイクルします。

- 生産・販売サイドが主導となって、回収とリサイクルを行います。
- この民間主導のリサイクルは、その費用を、消費者が製品の購入時に、支払います。(商品価格に、回収・リサイクル費用を上乗せして販売する。)
- 行政は、民間サイドのリサイクルが円滑に進むよう、種々の指導・支援を行うとともに、環境水準に悪化がないよう、チェックも行います。

ごみ + 資源の総量を減らす！

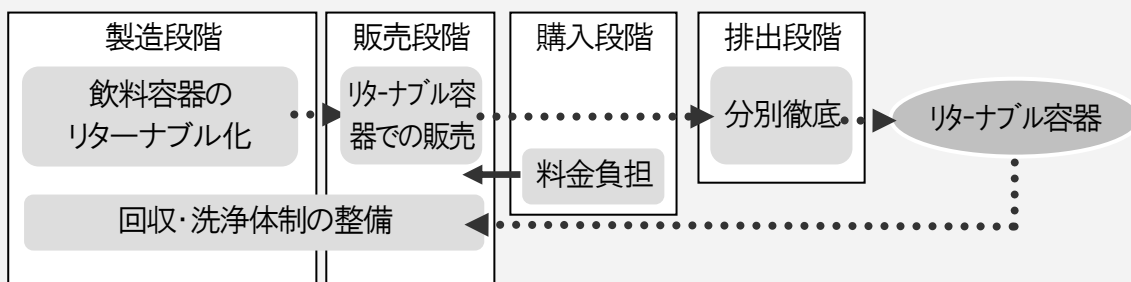
ごみの量を減らす！

(4) 飲料容器



市民・事業者の役割大

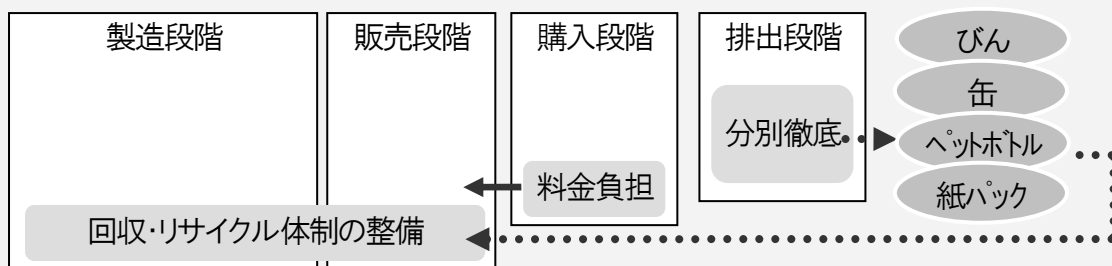
シナリオ A



発生抑制の一環として、飲料容器のリターナブル化を民間主導で推進します。

- 事業者・消費者には、“リターナブル容器の積極利用”が求められます。
※生産者、販売店と消費者の協定による“リターナブル容器の利用推進”など自主的な取組みが求められます。
※自主的取組みは“飲料容器のリターナブル化や、ワンウェイ容器への課税など”の共通ルール設定を含みます。
- リターナブル容器は、生産・販売サイドが主導となって、回収とリユースを行います。
- この民間主導のリサイクルは、その費用を、消費者が製品の購入時に、支払います。
(商品価格に、回収・リユース費用を上乗せして販売します。)
- また、必要に応じ預り金制度(デポジット制度)も活用します。
(販売時に、預り金を徴収し、消費者が容器を返却する際に、預り金を払戻す仕組み)
- 行政は、民間サイドのリサイクルが円滑に進むよう、種々の指導・支援を行うとともに、環境水準に悪化がないよう、チェックも行います。

シナリオ D



飲料容器は民間ルートでリサイクルします。

- 飲料容器は、生産・販売サイドが主導となって、回収とリサイクルを行います。この民間主導のリサイクルは、その費用を、消費者が製品の購入時に、支払います。
(商品価格に、回収・リサイクル費用を上乗せして販売する。)
- また、必要に応じ預り金制度(デポジット制度)も活用します。
(販売時に、預り金を徴収し、消費者が容器を返却する際に、預り金を払戻す仕組み)
- 行政は、民間サイドのリサイクルが円滑に進むよう、種々の指導・支援を行うとともに、環境水準に悪化がないよう、チェックも行います

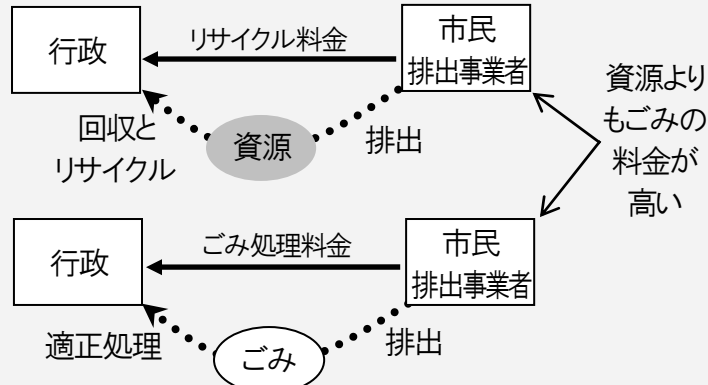
ごみ + 資源の総量を減らす！

ごみの量を減らす！

3. 費用負担のあり方についてのシナリオ間の違い

行政の役割大

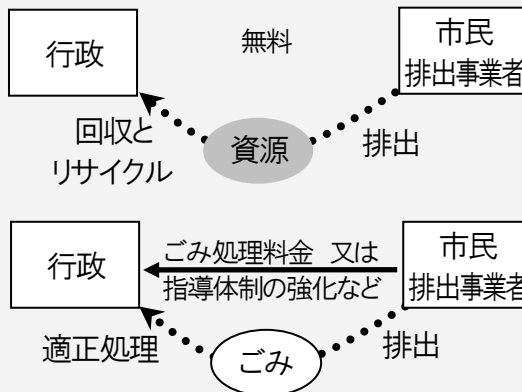
シナリオ B



ごみ・資源に関わらず、減らすことに重きを置きます。

- ごみ・資源ともに減らす必要があるので、有料とします。

シナリオ C



ごみを減らすこと(分別の徹底)に重きを置きます。

- ここでは、ごみを減らすことに重きを置くため、資源は無料となります。

※シナリオ C はごみ有料化が必然ではありません。C が選択された場合は、分別徹底方策について別途検討して頂きます。

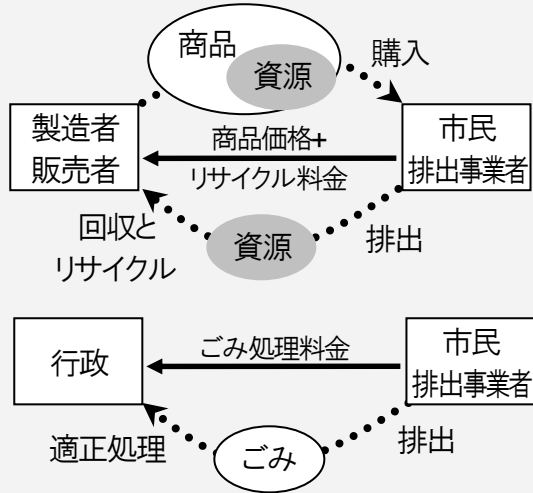
- ごみを有料に、資源を無料とすれば、分別促進が期待できます。
- 一方、ごみを有料としない場合は、玄関先や集積所で分別度合いのチェックや指導の体制強化や、意識啓発などの取組みをより一層進める必要があります。

ごみ + 資源の総量を減らす！

ごみの量を減らす！

市民・事業者の役割大

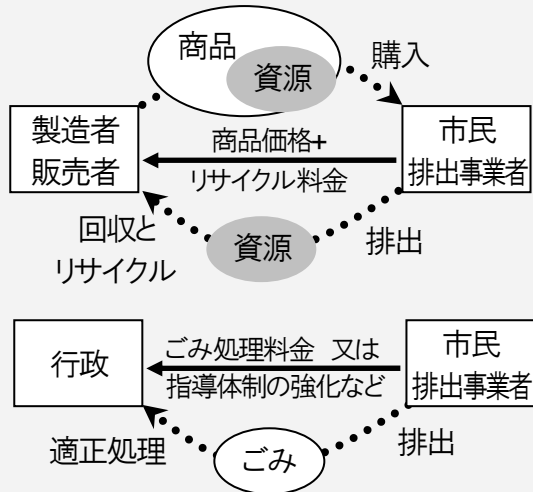
シナリオ A



ごみ・資源に関わらず、減らすことに重きを置きます。

- 資源は、生産・販売者による回収・リサイクル、その費用は商品価格に上乗せされます。
- ごみを減らす必要もあるので、ごみも有料とします。

シナリオ D



ごみを減らすこと(分別の徹底)に重きを置きます。

● 資源は、生産・販売者による回収・リサイクル、その費用は商品価格に上乗せされます。
 ※シナリオDはごみ有料化が必然ではありません。Dが選択された場合は、分別徹底方策について別途検討して頂きます。

- ごみを有料に、資源を無料とすれば、分別促進が期待できます。
- 一方、ごみを有料としない場合は、玄関先や集積所で分別度合いのチェックや指導の体制強化や、意識啓発などの取組みを市民・地域が自主的に行う必要があります。

ごみ+資源の総量を減らす！

ごみの量を減らす！

4. 教育・人材育成・しみん協働からみるシナリオ間の違い

市民・事業者の役割大	
ごみ + 資源の総量を減らす！	<p style="text-align: center;">シナリオ B</p> <p>〈環境教育・人材育成に関する基本の展開〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政が、循環型社会づくりを進めるために必要となるルールについて、市民・事業者等への理解と協力を求めるための活動を展開する。 →市民・事業者等は、ルールを理解し、遵守する。 ● 学校教育としては、循環型社会づくりに関する知識に加え、行動につながる体験的教育を実践する <p>〈学習内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活様式・価値観の見直し(発生抑制) ● 循環型社会づくり、3R の重要性 <p>〈地域協働〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政による推進体制の整備と実行 →行政から委嘱された循環型社会づくり推進員などが中心となり、地域で取組を進める。
ごみの量を減らす！	<p style="text-align: center;">シナリオ C</p> <p>〈環境教育・人材育成に関する基本の展開〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政が、循環型社会づくりのうち、特にリサイクルを進めるために必要となるルールについて、市民・事業者等への理解と協力を求めるための活動を展開する。 →市民・事業者等は、ルールを理解し、遵守する。 ● 学校教育は、循環型社会づくりのうち、特にリサイクル推進に関する知識に加え、行動につながる体験的教育の実践する。 <p>〈学習内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル推進を中心に教育 <p>〈地域協働〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政による推進体制の整備と実行 →行政から委嘱されたリサイクル推進員などが中心となり、地域で取組を進める。

市民・事業者の役割大

シナリオ A

〈環境教育・人材育成に関する基本の展開〉

- 市民・地域団体・NPO・事業者等による自主的な取り組みを推進するために必要となる人材育成を自主的に展開する。
→なごや環境大学のようなパートナーシップ型教育システム、生涯学習の場の活用が例となる。
→参加者はそれぞれの地域の課題を持ち寄って地域の実情に応じた課題と対応を検討。その成果を地域に持ち帰り、普及啓発、取組につなげる。
- 発生抑制などの取組を地域で自主的に進めることができる、自律した市民の育成に力点を置く。
→行政は人材育成や地域での学習会開催の支援策(助成金交付など)
- 学校教育は、循環型社会づくりに関する知識に加え、行動につながる体験的教育の実践する。

〈学習内容〉

- 生活様式・価値観の見直し(発生抑制)
- 循環型社会づくり、3R の重要性

〈地域協働〉

- 地域それぞれの状況や地域の自主性に基づいて取組を進める団体を組織。
→発生抑制の取組を進めるため、生産者、販売者、消費者、排出事業者、NPOなど多くの主体が参加。

シナリオ D

〈環境教育・人材育成に関する基本の展開〉

- 市民・地域団体・NPO・事業者等による自主的なリサイクルを推進するために必要となる人材育成を自主的に展開する。
→なごや環境大学のようなパートナーシップ型教育システム、生涯学習の場の活用が例となる。
→参加者はそれぞれの地域の課題を持ち寄って地域の実情に応じた課題と対応を検討。その成果を地域に持ち帰り、普及啓発、取組につなげる。
- リサイクルの取組を地域で自主的に進めることができる、自律した市民の育成に力点を置く。→行政は人材育成や地域での学習会開催の支援策(助成金交付など)
- 学校教育は、循環型社会づくりのうち、特に自主的なリサイクル推進の行動につながる体験的教育の実践する。

〈学習内容〉

- リサイクル推進を中心に教育

〈地域協働〉

- 地域それぞれの状況や地域の自主性に基づいて取組を進める団体を組織。
- リサイクル推進のため、主に消費者、排出事業者が参加。

ごみ + 資源の総量を減らす！

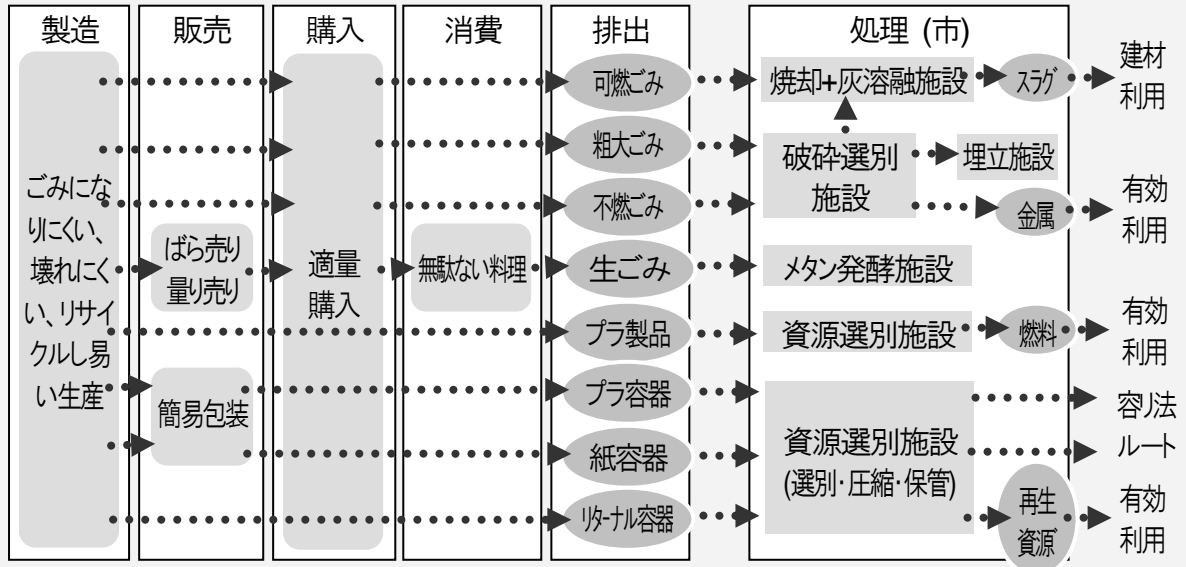
ごみの量を減らす！

5. ごみ・資源の流れからみるシナリオ間の違い

市民・事業者の役割大

シナリオ B

ごみ + 資源の総量を減らす！

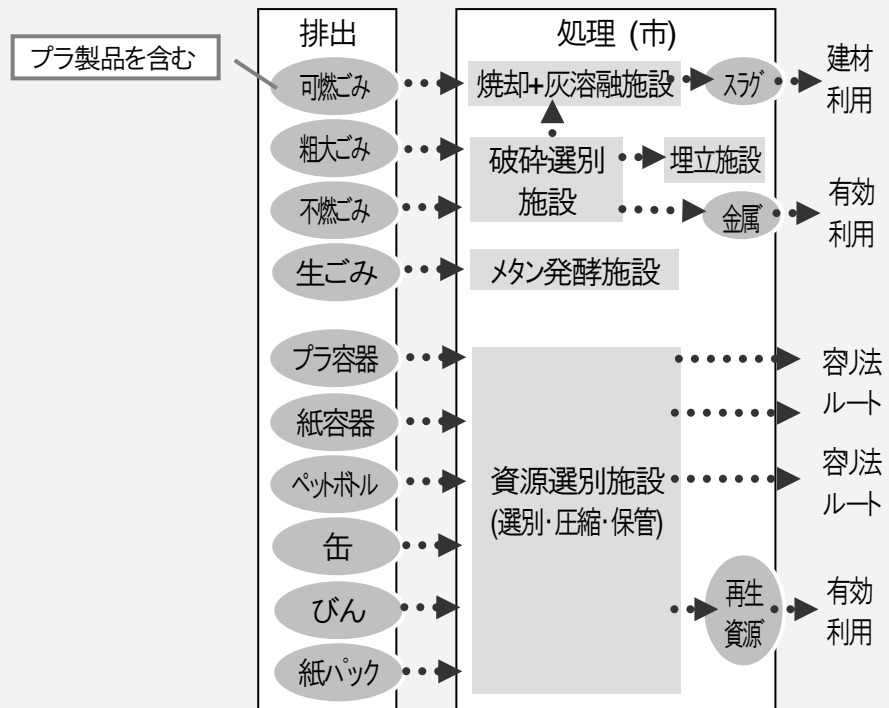


(全ての区分が有料)

※既に、市民サイドにより自主的に展開されている古紙・古着類の回収は継続。

シナリオ C

ごみの量を減らす！



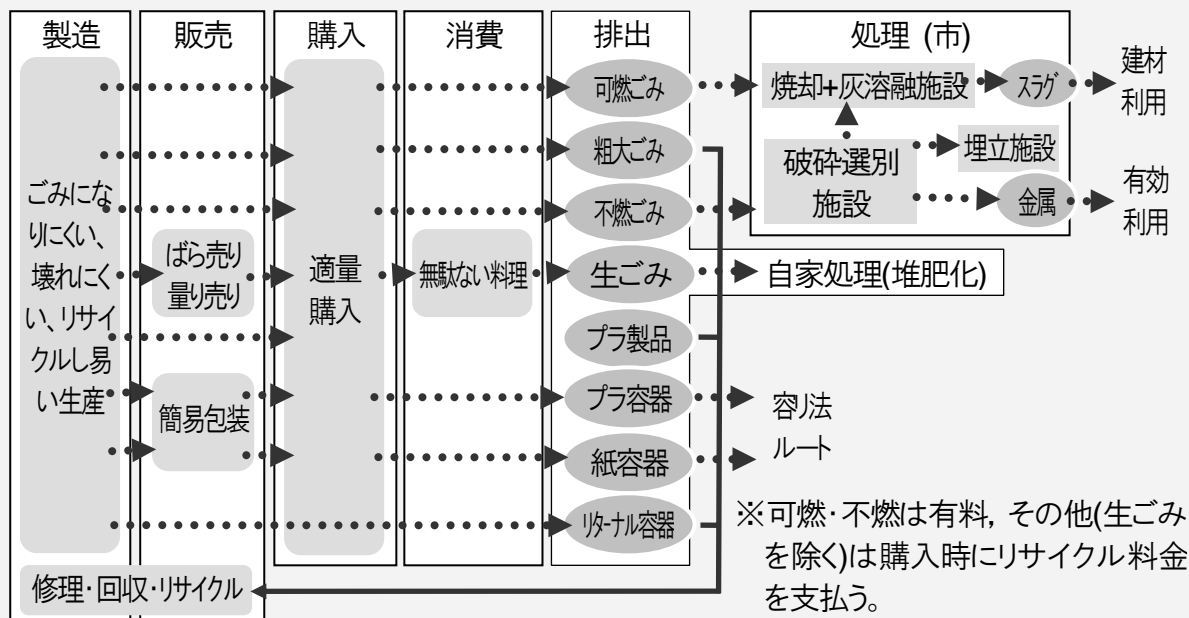
(可燃・不燃の有料化は別途検討)

※既に、市民サイドにより自主的に展開されている古紙・古着類の回収は継続。

市民・事業者の役割大

シナリオ A

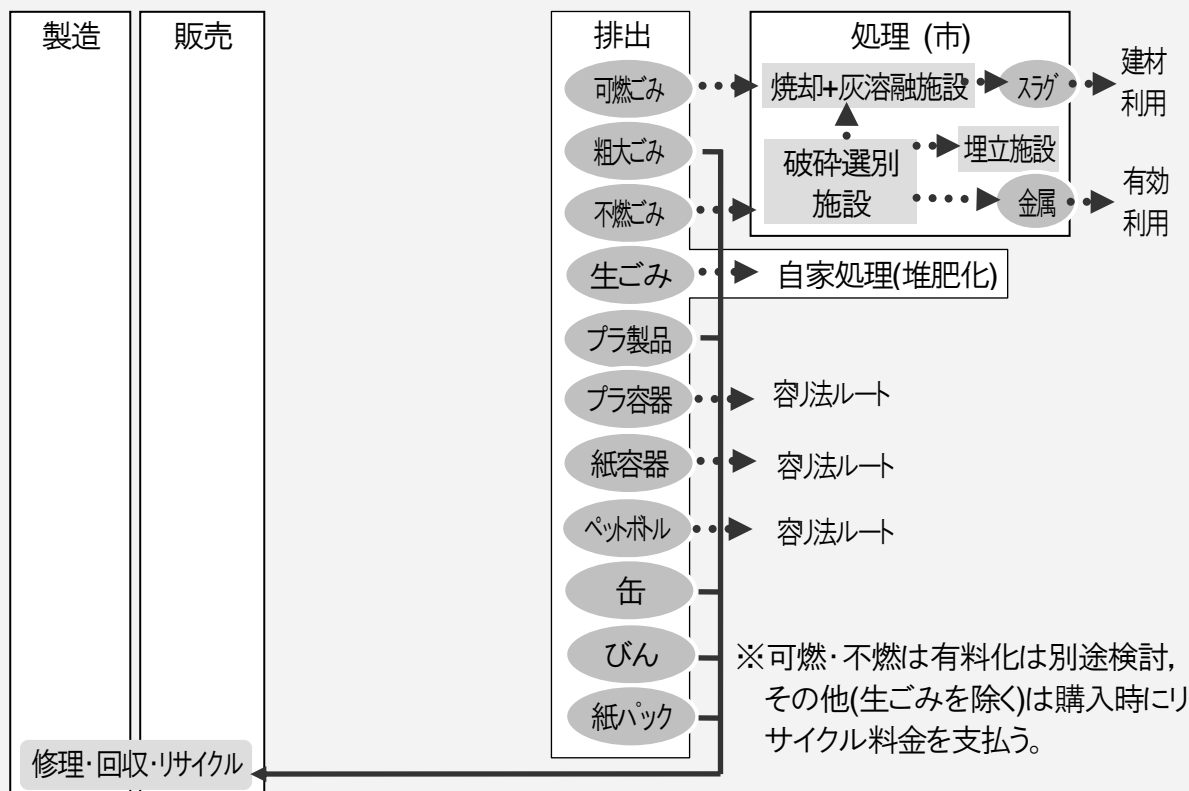
ごみ + 資源の総量を減らす！



※既に、市民サイドにより自主的に展開されている古紙・古着類の回収は継続。

シナリオ D

ごみの量を減らす！



※既に、市民サイドにより自主的に展開されている古紙・古着類の回収は継続。